

■平成 31 年度 後期選抜 入試問題分析【英語】

■問題分析

1. 全体を通して

第一問を除いて前期選抜試験の問題形式と同様であり、語順整序問題は長文読解の設問に含まれず、第二問の文法問題に移動した。その他の変更点として、リスニング問題における記述の出題があった。記号問題の配点が昨年度 46 点に対して 50 点と 4 点分増え、更に第一問の配点が 4 点増えたことから平均点は昨年度の 51.6 点よりもやや上がると予想される。設問数に変化はなく、英作文も書きやすくなった。

2. 大問ごとの分析

【第一問】リスニング問題

適切な絵の選択が 2 問、短い会話における適文選択が 2 問、会話を聞いた後の適文選択が 3 問、合計 7 問に加え、英語の質問に記述する問題が追加された。しかし What do you usually do every Sunday? という、中学 1 年生でも理解できる質問であったため、少し戸惑うかもしれないが容易に書けたと思われる。

【第二問】文法問題

前期選抜試験同様、適語選択と適語補充に加えて語順整序が追加された。適語選択は昨年度 2 問から 3 問と増えたが、適語補充は 3 問から 2 問へと減少した。適語選択や適語補充は基本単語を問うものであった。語順整序は take 人 to 場所 や don't have to などで、適語補充同様基本的なものであった。

【第三問】長文読解(昨年度 423 語→今年度 361 語 62 語減少)

例年の形式と変わらないが、語形変化や語順整序がなくなったため設問数は 7 問から 4 問と減少、配点も 23 点から 17 点と減っており、長文の長さも短くなった。設問は難しくはないが、下線部の説明において適切に和訳できたか(most の和訳)、英問英答では疑問詞が主語となっているパターンであったので代動詞を使って答えることが出来たかが明暗を分けたであろう。

【第四問】会話文読解(昨年度 395 語→今年度 401 語 6 語増加)

設問数に変化はなかったが、配点は 31 点から 26 点に減った。適語補充(記号)、下線部の説明、絵の選択、英問英答、内容一致問題(適語補充)が出題され、昨年度と比べ易化したと思われる。英問英答において、第三問同様、疑問詞が主語となっているパターンや、解答となる部分が長かったことにより、ミスが目立ってしまったかもしれない。

【第五問】英作文

昨年度と全く同じ形式で配点も変更なく、会話の流れに沿って適文を考えるものであった。2 つ目の設問は「宮城の訪れるべき良い場所」、つまりオススメの場所を 3 文程度で答えればよい。1 文目に場所の提案、2 文目にその場所の特徴、3 文目にその場所のできることや得られることなどを書くといい。

■出題・配点一覧

単元	形式・内容	問題数	配点	小計
リスニング問題	記号選択	7	21	25
	記述	1	4	
文法問題	適語選択	3	6	20
	適語補充	2	6	
	語順整序	2	8	
長文読解	記号選択	2	9	17
	記述説明(日本語)	1	4	
	英問英答	1	4	
会話文読解	記号選択	5	14	26
	記述説明(日本語)	1	4	
	英問英答	2	8	
英作文	1文の英作文	1	4	12
	3文以上の英作文	1	8	